



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

## 平成27年度 第3回授業改革実践研修会

日時：平成27年11月17日(火)実施

- 目的**
- ・ 魅力ある「分かる授業」を創るため、授業力の向上を図る。
  - ・ 通常の学級における授業における特別な支援を必要とする児童生徒への指導の在り方を学ぶ。

### 研修Ⅰ【公開授業】「リーダーについて考える」 授業者：三里中学校 仁木 良子 教諭

〔本時のねらい〕

リーダー及びリーダーを支える立場の人など、それぞれの立場に立って「リーダー」の資質について考えることや、集団としての真の力、支えとは何かを考えるを通し、よりよい集団に向けて自分のできる行動を考える。

〔特別な支援を必要とする児童生徒への手立て〕

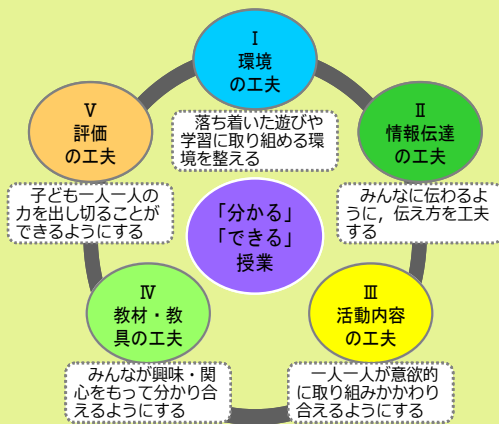
自分の経験と呼びおこすために、これからの姿をイメージできるような視覚教材を活用した。また、話し合いがしやすい班づくりをし、班活動のなかで意見が言いやすいように仕組んでいた。



### 研修Ⅱ【講評・講話】「授業における特別な支援を要する児童生徒への指導の在り方」

講師：高知大学 是永 かな子 准教授

#### ユニバーサルデザインに基づく授業のポイント



高知県教育委員会(2015)すべての子どもが「分かる」「できる」授業づくりガイドブック～ユニバーサルデザインに基づく、発達障害の子どもだけでなく、すべての子どもにもあると有効な支援～及び実践事例集vol.1

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/311001/guide.html>

#### 「特別な支援を要する児童生徒への指導」の際に留意すること

- ・ すべての児童生徒がリーダーになれる（特定の者だけではない）という思いをもてるのが大事。すなわち、優しさならあなたがリーダー、運動ならあなたなど、全員がリーダーになる場面を設定することで、格差をつくらない集団をつくる。（集団づくり、チームワークという視点をもつ）
- ・ 映像を見せるときには、何に注目すればよいかという視点や見る目的をはっきりさせる。
- ・ 何を書けばよいか困っている児童生徒にヒントとなる資料を示す。（できている子どもの例をつぶやく、「1問目は隣の友だちの解き方を見てもいいよ、でも2問目は自分の力で考えてみよう」と声をかけるなど）
- ・ 班活動の役割を明示する。（司会、記録、発表、感想の4枚のカードを作成し、裏には役割内容を具体的に書いておく）
- ・ 机間指導の際、気になる児童生徒への支援に行く途中で、当たり前にながらんでいる子どもへの声かけもする。
- ・ 発表を何のために聞くのか、聞く必然性を設定する。（反応させる、活動させる、メモをとらせるなど）
- ・ 発表のときにいかに思考を展開させるか。（キーワードを強調し、子どもの意見をつなげてまとめにもっていく）

支援が必要な子どもの環境を整えることが、みんなの環境を整えることにつながる！ユニバーサルデザインは取り入れやすいものから、使ってみよう。



多角的に評価をしよう。一元的に評価をすると序列をつくってしまうことになる。比べて褒めるのではなく、その子どものいい所を褒める。褒めるときに競争しない価値基準で褒める。（速い、1番、多いなどは使わない）

子どもの能力の凸凹に注目する。この凸凹をうまく組み合わせると、助け合える関係になる。「多様」な集団を前提に授業を構成しよう。

#### 【受講者の感想】

- ・ 課題に対して主体的に関わっていない場合でも、本時のようなVTRを活用することで、自分に置き換えて考えやすくなると感じた。どのように活用するのか意図的に記録を残すことが必要だと分かった。
- ・ 多様な子どもと一緒に授業をつくるということを知り、初めは抵抗を感じてしまった。しかし、ユニバーサルデザインに基づく授業のポイントを教えていただき、五つの柱のそれぞれのなかから一つでも行えばよいということを知り、できることから始めてみようと感じた。また班活動では、つい役割が偏りがちなので、紹介してもらったカードを用いて役割分担をしたいと思った。

# 「思考力・判断力・表現力の育成」

## ～少人数の利点を生かした学習方法の工夫～

全体講演 「県内・県外の小規模校教育の実践事例から～思考力・判断力・表現力の育成に向けて～」

講師：高知県へき地・複式教育研究会会長、黒潮町立入野小学校 芝 雅人 校長

### 複式学級の授業「攻める間接指導」へ

以前は、教師側が効率的に授業を「わたり」たいという思いから直接指導後の間接指導においては、子どもたちがノートに記述をしたりプリント学習をするなど、守りの指導を行うことが多かった。



### 学習リーダーを活用した授業

学校によって名称は異なる(例:司会者)



#### 小学校複式学級

- ・ 学習リーダーを活用した間接指導とそれにつながる直接指導の在り方の研究

#### 小学校単式学級

- ・ 学習リーダーを活用した学習活動の在り方の研究(複式学級との接続を意識して)

#### 中学校全学級

- ・ 小学校での学習リーダーによる学習経験を生かした学習活動の在り方の研究

学習リーダーを活用した授業を行うことで、主体的に学習に取り組むことができ、表現力の育成にもつながる。

また、手立ての必要な子に個別の支援をする時間も確保できる。

#### 子どもたちの声

最初は、学習が進まず、おくれてしまった時もありました。だんだんと自分たちで説明しあったり、進めたりできるようになりました。

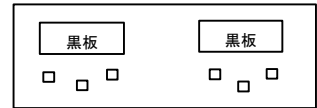
今は、小さなことなら自分たちで解決します。分からない言葉は辞書で調べ、司会者を中心にして授業を上手に説明する力がついてきました。

(H24.3.14 中国新聞)

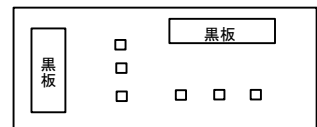
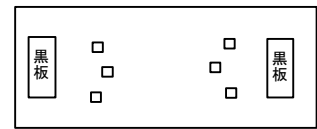
### 学習形態について

～県外の実践から学んだこと～

高知県では、複式の授業において両方の学級が前向きの机配置が一般的



県外では、背面やL字型の机配置が多い



背面に比べて、L字型の配置は教師の移動距離が少なくてすむ利点がある。



### 小規模校でも実践している授業を変えようとする流れ

問題解決学習・言語活動の重視  
協同的な学びを取り入れた授業実践

### 「ふるさとから学ぶ」こと

ふるさとから学ぶこと⇒地域の特性を知ること

- \* 地域の特性を生かした指導計画や学習指導の工夫からふるさとへの関心を深める

【ふるさとを見直す取組の一例として】

#### 「〇〇百景をつくろう」

子どもたちが身の回りから、自分たちの学校やふるさとのよさを写真と紹介文を合わせてホームページに掲載する取組



子どもたちが自分の目で見つけて、ふるさとから多くのことを学んでほしい。



鏡地域の太刀踊り

### 鏡中学校の公開授業より



表現や活用する力を重視した授業構成  
視聴覚機器などの効果的な活用

鏡地域らしさを残しつつ、創造性を育む